令和７事業年度

決　算　報　告　書

自：令和０７年０４月０１日

至：令和０８年０３月３１日

国立大学法人奈良先端科学技術大学院大学

令和7年度 決算報告書

国立大学法人奈良先端科学技術大学院大学

（単位:百万円）

区　分	予 算 額	決 算 額	差　額 （決算－予算）	備　考
収入				
運営費交付金	5,640	5,845	205	（注1）
施設整備費補助金	164	181	17	（注2）
補助金等収入	2,655	2,907	252	（注3）
大学改革支援･学位授与機構施設費交付金	0	0	0	
自己収入	664	786	122	
授業料、入学料及び検定料収入	514	551	37	（注4）
雑収入	150	235	85	（注5）
産学連携等研究収入及び寄附金収入等	2,244	2,271	27	
目的積立金取崩	596	437	△ 159	（注6）
引当特定資産取崩	0	4	4	（注7）
計	11,963	12,431	468	
支出				
業務費	6,900	6,176	△ 724	
教育研究経費	6,900	6,176	△ 724	（注8）
施設整備費	164	181	17	（注9）
補助金等	2,655	824	△ 1,831	（注10）
産学連携等研究経費及び寄附金事業費等	2,244	2,002	△ 242	（注11）
計	11,963	9,183	△ 2,780	
収入－支出	－	3,248	3,248	

〇予算と決算の差異について

（注１）運営費交付金については、予算段階では予定していなかった特殊要因経費（退職手当及び教育・研究基盤維持経費）が２２４百万円交付されたこと、また運営費交付金に計上した債務繰越分が予算段階の金額よりも１９百万円少額であったことにより、予算金額に比して決算金額が２０５百万円多額となっております。

（注２）施設整備費補助金については、予算段階では予定していなかった令和７年度施設整備費補助金（長寿命化促進事業）が交付されたことにより、予算金額に比して決算金額が１７百万円多額となっております。

（注３）補助金等収入については、予算段階の金額よりも受入額が多額であったことにより、予算金額に比して決算金額が２５２百万円多額となっております。

（注４）授業料、入学料及び検定料収入については、主として授業料徴収者の増加が要因となり、予算金額に比して決算金額が３７百万円多額となっております。

（注５）雑収入については、学術指導収入及びDSCコンソーシアム収入の増加等が要因となり、予算金額に比して決算金額が８５百万円多額となっております。

（注６）目的積立金取崩については、予算段階で予定していた取崩事業の完成時期を繰り越したこと等により、予算金額に比して決算金額が１５９百万円少額となっております。

（注７）引当特定資産取崩については、予算段階で予定していなかった取崩事業を行ったことにより、予算金額に比して決算金額が４百万円多額となっております。

（注８）教育研究経費については、主として経費の節減により、予算金額に比して決算金額が７２４百万円少額となっております。

（注９）（注２）に示した理由により、予算金額に比して決算金額が１７百万円多額となっております。

（注１０）補助金等支出については、事業の支出計画の見直しにより、予算金額に比して決算金額が１，８３１百万円少額となっております。

（注１１）産学連携等研究経費及び寄附金事業費等については、受託研究費等の支出が予算段階での計画額を下回ったことが主たる要因となり、予算金額に比して決算金額が２４２百万円少額となっております。